

# 令和6年度生涯学習関連事業評価の自己評価について

令和7年7月15日  
生涯学習審議会資料⑨

## 【施策5】家庭・学校・地域の連携・協働促進

家庭・学校・地域が連携・協働して、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに地域社会全体の教育力の向上をめざします。

### 【推進施策と主な取組】

#### (1) コミュニティ・スクールの推進

- ① 学校運営協議会と地域学校協働本部を設置し、両者を一体的に行うコミュニティ・スクールを推進することで、家庭・学校・地域がそれぞれの強みをいかしてつながり、子ども達をはぐくんでいきます。
- ② 地域学校協働活動を推進していく中で、放課後子ども教室、子どもの見守り活動、子どもの体験活動など、積極的に子どもを地域ではぐくむための取組を進めます。
- ③ 地域学校協働本部の設置・運営を支援するとともに、地域学校協働活動推進員の養成・資質向上に向けた研修会等を実施します。

#### 【R6事業評価】

- A=事業目標を十分に達成した
- B=事業目標を概ね達成した
- C=事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要
- D=事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	②	教育支援課	放課後子ども教室支援事業	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供する。	2,820,000円	4,500人(参加人数)	4,218人(参加人数)	B	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供することができた。教室を持続的に運営するための、地域の安定した協力体制においては課題があった。	地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、地域の推進組織と連携・協力しながら、人材確保を含め、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。

### 【推進施策と主な取組】

#### (4) 青少年の健全育成

- ① 青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会など各種関係団体が相互に連携しながら、青少年健全育成のための取組を推進します。
- ② 人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、子どもたちの「生きる力」をはぐくむため、よりいっそう、事業活動の充実を図るとともに、保護者や子育て世代との交流の促進や学力向上につながる事業の推進に努めます。
- ③ 青少年センターの活動について、市内全域からより多くの子どもの参加を促すため、事業内容を充実させます。
- ④ 生涯学習活動のため施設を利用している団体と協働し、青少年向け事業のいっそうの充実と世代間の交流促進の取組を推進します。

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	①	教育支援課	社会教育団体への支援	青少年健全育成に関わる団体や連合育友会へ補助金を交付することによる支援を行う。青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。	2,733,000円 (青少年健全育成協議会:補助金1,500千円+事業733千円、連合育友会:補助金500千円)	青少年の健全育成のため、各団体が計画している事業を社会状況に応じて実施する。	計画していた事業を概ね実施できた。	B	地域青少協の中には、コロナ以前に実施していた事業を再開できていないところがある。	引き続き青少年の健全育成のため、社会状況に応じて、事業実施を検討する。
2	②	教育支援課	中学生の主張大会開催	中学生、保護者、市民等の参加の下に、市内11中学校の代表生徒が「主張」を発表し、互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生に対する理解と認識を深め、青少年の健全育成の一層の推進を図る。	722,000円	185人(参加者)	約150人(参加者)	B	一定数の市民に会場してもらえることができたが、開催時間の関係から、中学生の参加がほとんどなかった。	社会状況に応じて、事業実施を検討し、より多くの市民に聞いてもらえるよう工夫を図る。
3	②	文化スポーツ課	少年少女合唱団	自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、学校教育に準じて運営・指導を行う。市・指導者・保護者会の3者で運営。定期的に指導者会議を実施。	2,594,000円	合唱団の認知等の向上のため、市内外へ積極的に広報していく。	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約20人で、コンサート出演などの活動を行った。全日本少年少女合唱祭全国大会など市内外のコンサートへも多数参加するとともに、定期演奏会を開催した。	B	多くのイベントへ参加することにより、周知は進んだが、団員の増加には至らなかった為。	近年、団員数が減少傾向にあり、合唱団の認知等の向上のため、市内外へ積極的に広報していく。
4	④	生涯学習課	青少年によるクリーン宇治運動	青少年団体への呼びかけにより、塔の島から天ヶ瀬橋までの宇治川両岸及び大吉山周辺を中心に清掃活動を行い、青少年の社会参加と健全な育成を目指す(実行委員会と共催、中央会場)。	26,000円	中央会場の参加者数をコロナ禍以前の水準まで回復する。地域会場との連携回数(物品貸出)を増やす。	青少年団体への呼びかけにより、塔の島から天ヶ瀬橋を中心に、クリーン宇治運動を実施。268人が参加。またガールスカウト京都府第70団によるFM宇治での広報、ボーイスカウト宇治第5団による開会式、子ども会連絡協議会による啓発ティッシュの配布を実施。	B	中央会場の参加者数はコロナ禍以前の水準まで回復したものの、地域会場との連携回数は横ばいとなっている。	今後、より多くの参加者を得られるよう、引き続き取り組みを進めていく。また、地域会場との連携のため、物品の貸出を引き続き行う。
5 (新規)	④	生涯学習課	宇治市小学生百人一首大会	「古典の日フォーラム2024」が宇治市で開催されることを記念して、宇治市在住の小学生を対象とした百人一首大会を開催して古典に親しむ機会を創出するとともに、他校児童との交流や学びの場とする。	110,000円	市内在住の小学生より参加者を募集(定員60名)し、京都小倉かるた会協力のもと対抗戦を行う。	11月4日(月・祝)宇治市小学生百人一首大会を実施。参加者54名(低学年22名、高学年32名)	B	ほぼ目標人数を達成し、古典に親しむ機会の促進に寄与できた。	今後、より多くの参加者を得られるよう、事業内容を精査し、引き続き取り組みを進めていく。また、本事業は京都小倉かるた協会の協力が無くしては事業の実施が困難のため、引き続き協力を依頼する。

## 【施策6】市民が学び合う生涯学習社会の進展

人生100年時代の到来に向け、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりが生涯にわたっていきいきと学び合い、地域の発展に力を発揮する生涯学習環境の実現を目指します。

### 【推進施策と主な取組】

#### (1) 生涯学習情報の的確な提供

- ①市民が学んだ成果を地域や社会に還元する「市民が学び合う生涯学習社会」の進展を目指します。
- ②市内の生涯学習活動情報について、生涯学習及び地域活動に取り組む市民から情報を収集し、これを広く提供する機会の拡充を図ります。
- ③ICTの進展やポストコロナ時代の新しい日常に対応するように、ICT機器の使用が得意・不得意な人との間に生じる情報格差の解消に努めます。
- ④障害のある人、外国人、LGBTQ等の様々な社会的少数者に関する取組を進め、多様性を認め合う共生社会の実現を目指します。
- ⑤生涯にわたる学びを支援するための図書館資料や情報を収集し提供します。

#### 【R6事業評価】

- A＝事業目標を十分に達成した  
 B＝事業目標を概ね達成した  
 C＝事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要  
 D＝事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	①	地域福祉課	地域支え合い出前講座(地域福祉推進事業)	市内在住、在勤又は活動する人を対象に、身近な地域で住民主体の福祉を推進する“地域福祉”についての理解を深めてもらうため、市内の団体等が主催する集会等に担当職員を派遣を行い、出前講座を開催する。	0円	身近な地域で住民主体の福祉を推進する“地域福祉”についての理解を深めてもらう。	令和6年度は申込がなかった。	C	講座への申込がなく、周知が課題であるため。	講座の開催回数の目標は従来より設定していないものの、地域住民が主体となる地域福祉についての理解を深めてもらうきっかけづくりのため取組を継続する。さらに、本事業の広報を行い、周知を図る。
2	①	危機管理室	防災講座の開催(出前)	防災に関する市民意識の高揚を図るため、町内会や各種団体で防災講習会を開催。職員を講師として派遣。市より町内会などに講習会の開催を働きかける。	0円	世代を問わず防災意識を高めてもらえるような出前講座を実施する。	市民の災害発生時の対応や平時での防災意識の向上のため、各町内会・自治会、要配慮者施設や団体が開催する防災講習会などにも職員が積極的に参加し、防災に関する啓発を行った。	A	座学だけではなく、パーテーションや段ボールベッド等の組み立て方を学ぶ避難所運営体験や非常用持ち出し袋の作成に関するゲームを実施することにより、若年層世代の防災意識の高揚を図ることができたため。	引き続き多くの市民に防災意識を高めてもらえるような出前講座の実施方法について検討する。
3	②	生涯学習課	生涯学習人材バンク	市内を中心に活動する個人講師や団体の人材情報を集めてホームページと冊子版(市内公共施設に設置)で情報提供している。登録講師の意識向上とスキルアップを目的とした交流会・イベント等を実施する。	0円	制度のPR及びCS交流会を通じて学校や地域での活動に協働して取り組むためのヒントを得、学校関係者や地域学校協働活動推進員とのネットワークを深め、活動につなげていく。	登録者数は72件、利用回数は53回。「宇治市コミュニティ・スクール交流会」を教育支援課、生涯学習センターとの共催で開催。人材バンクからは1団体、3個人、計5名が参加した。また、制度のPRとしては、市政だより、FMうじ、介護サービス事業者等、育成学級指導員、町内会・自治会長向けに広報した。	B	コミュニティ・スクールに関する理解を深め、地域や学校での活動に協働して取り組むためのヒントを得たり、関係者が知り合い、交流することができたが、人材バンク登録者の参加人数が少なく、活動内容について十分に知ってもらうには不十分であったため。	宇治市HP上に登録講師の紹介動画や写真の掲載をするなど、新たな広報手段を検討し、より多くの人に制度を知ってもらう。また、令和6年度に引き続き「宇治市コミュニティ・スクール交流会」を開催、学校関係者や地域学校協働活動推進員とのネットワークを深め、活動につなげていく。
4	②	学校教育課	地域社会の人材活用システム	宇治市立幼小中学校において、地域社会人材の専門性を活用し、園児・児童・生徒へ学習支援や指導を受けるためのシステム。学校(園)が人材を発掘・活用⇒市教委へ登録⇒学校(園)へ人材データの提供。	総合的な学習の時間 報償費(当初予算) 小学校 1,838,000円 中学校 2,203,000円 合 計 4,041,000円	探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、総合的な学習を推進する。	登録社会人講師 依頼人数 129人	B	社会人講師等の外部人材の活用により、従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、自主的・実践的な態度を育成する教育振興を図ることができた。	今後も、総合的な学習での探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、社会人講師等の外部人材の活用を促進し、総合的な学習を推進する。
5	④	生涯学習センター	バリアフリー上映会	バリアフリーのまちづくりを目指し、上映実行委員会が企画運営し、視覚・聴覚障害者等と共に映画を楽しめるよう字幕・副音声付きの映画を上映する。上映会の趣旨に賛同し、生涯学習センターが共催。	3,000円	聴覚・視覚障害者のために字幕・副音声付きの映画を生生涯学習センターで実施。	字幕・副音声付きの「ハンサム★スーツ」を10月に上映。令和6年度から参加費無料の1回上映とし、約180人が鑑賞した。	B	作品レンタルの条件から1回上映となったが、前年度並みの参加者があった。	上映作品の選択について、もっと集客を望める作品を検討する必要がある。

### 【推進施策と主な取組】

#### (2) 生涯学習講座の充実

- ①人生100年時代が到来し、社会情勢の変化が著しい現代にあって、市民一人ひとりが学びを通して豊かな人生を送ることができるよう、多様なニーズに応じた学びを推進します。「市民が学び合う生涯学習社会」の進展に向けた講座を企画運営し、市民が学んだ成果を社会に還元する機会の充実を図ります。
- ②学習拠点施設の特長をいかした独自の活動の充実を図ります。
- ③ICTを活用して、いつでもどこでも学習できる環境づくりを推進します。
- ④地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
- ⑤子どもや若者が地域の課題解決に主体的に関わることができるような機会の充実を図ります。
- ⑥人権教育及び人権啓発の視点を取り入れた学習講座の充実を図ります。

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	①	長寿生きがい課	一般介護予防事業 B型リハビリ教室	疾病や加齢等により閉じこもり傾向にある高齢者が、教室の参加を通して心身の機能維持や改善を図り、閉じこもりが予防できるよう軽体操、レクリエーション、創作活動等を通じ精神面、身体面のリハビリを行っている。なお、実施には市民ボランティアも関わっている。	15,675,000円	プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める。	実人数 146人、延べ人数 4,279人	B	それぞれの段階に応じた心身の機能維持・回復を図るために必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図った。今後もプログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める必要がある。	プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める。
2	①	長寿生きがい課	高齢者アカデミー	高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄るとともに、地域社会に貢献する人材を養成するため、京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。	4,433,000円	高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄るとともに、地域社会に貢献する人材を養成する。	京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講生が本事業をとおして自ら地域課題を考え、学生同士で発表することができ、高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりを促進することができた。	B	高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図り、令和6年度の目標を達成することができたため。	今後も京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、継続して実施する。

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
3	①	公園緑地課	みどりのボランティア推進事業	緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。	2,183,000円	園芸の魅力が広がり、市の緑化啓発につながる様、活動の更なる活性化を目指しつつ、外部への発信力強化に取り組む。	令和6年度は「みどりの会」活動20周年の記念イヤーであり、FMうじへの出演、市ホームページでの動画公開等広報活動に取り組むとともに、福祉施設への園芸指導訪問等新たな活動も展開した。	B	20周年の節目として外部へ活動を発信したり、今後の活動の指針を話し合う中で、マンネリ化しつつあった活動内容を見直し、ボランティア自身が自主的に考え発信し実行するという「ボランティア活動」の根幹に関わる部分について認識しあう機会を持てたため。	ボランティア自身が会として取り組みたい事について議論し実現するというプロセスの構築に向けて、コロナにより停滞していた会員同士の交流を促進し、活動の活性化に取り組むつつ、緑化啓発につながる活動を継続発展させていきたい。
4	①	生涯学習課(各公民館)	公民館高齢者教室(中央、木幡、小倉、広野)	65歳以上の高齢者を対象に、高齢者が豊かな知識や教養を身につけ、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、交流の輪を広げる場として実施する。	520,000円	内容を刷新して参加者の興味を引き付け、参加者数の増加を目指す。	6分野のうち半分を刷新して新分野を取り入れた。高齢者教室参加者が、前年度と比較して順調に伸びた。(令和5年度 1,619人⇒令和6年度 1,891人)	B	高齢者教室参加者が、前年度と比較して順調に伸びているため。	各公民館ごとに、受講生同士の交流の輪を広げる工夫を行う。
5	①	生涯学習センター	宇治鳳凰大学	65歳以上の高齢者の学習への関心の高まりに呼応し、高齢期に適した教養や健康増進のための学習を取り入れて、健やかに生きがいのある生活を送ってもらうために実施する。	803,590円	アフターコロナの生活様式を踏まえた鳳凰大学運営を行う。中央公民館事業から生涯学習センター事業への移管2年目にあたり、さらに円滑な運営に努める。	各講座、入学式、鳳凰大学祭、卒業式、コース交流会、クラブ活動など、スムーズに生涯学習センター事業として展開し、活発で意欲的な活動が多く見られた。鳳凰大学祭では一般市民への周知、参加を促した。	A	コロナ前と同様の運営形態に戻せたことや、事業移管後2年目でよりスムーズな運営ができたことで、令和6年度目標を達成できたため。	令和8年度センター改修工事を踏まえた円滑な事業運営を図る。
6	①	危機管理室	自主防災リーダー養成講習	自治会等地域防災において中心的に活動できる人材として養成した自主防災リーダーについて、リーダー相互の連携強化の推進等を目的として、フォローアップ研修を実施するとともに、新たなリーダーの育成に向けて研修を実施する。	40,280円	自主防災リーダーが平常時や災害発生時の活動を行いやすい取組等を検討し実現できるよう、先を見据えたフォローアップ研修を実施する予定。	防災シンポジウム及び宇治市防災訓練の開催を通じて、自主防災リーダーの方に「タイムライン作成リーダー」としても活躍するための知識を習得していただいた。また、個別避難計画作成講習会を通じて、個別避難計画の作成手順を習得していただいた。	B	防災シンポジウム及び宇治市防災訓練、個別避難計画作成講習会を通じて自主防災リーダーのフォローアップ研修を実施することができたため。	自主防災リーダーが平常時や災害発生時の活動を行いやすい取組等を検討し実現できるよう、先を見据えたフォローアップ研修を実施する予定。
7	①	長寿生きがい課	ボランティア研修会	介護予防に関するボランティア等の人材を育成することを目的としている。なお、研修会の参加者の一部には、他の事業実施に関わっていただいている。	313,500円	年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に関するボランティア等の人材育成を行う。	年5回実施、参加者のべ数110人	B	ボランティア活動を継続できるように介護予防をテーマに研修会を実施し、地域で高齢者を支えあう役割の重要性を伝えることができた。	地域で継続したボランティア活動ができるように、効果的な実施内容の検討に努める。
8	①	長寿生きがい課	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症を正しく理解し、地域で認知症の人や家族に対して、できる範囲での手助けができる人を養成する。	394,000円(他の事業分も含む)	若年層を含めた幅広い年齢層に対して、養成講座を実施できるように努める。	認知症あんしんサポーター養成講座 開催回数29回 受講者数 1063人	B	前年度に比べ、開催回数、受講者数は減少した。一方、高校や小学校を通じての受講も含め、30代までの若い世代向けの開催は維持できた。一つの団体への実施により関連団体への開催依頼につながる等、新たな団体への広がりを認めている。	若年層を含めた幅広い年齢層に対して、養成講座を実施できるように努め、認知症に対する正しい知識と理解を得るための普及啓発を図る。
9(新規)	①	環境企画課	ゼロカーボンセミナー開催事業	ゼロカーボン社会を実現するため、脱炭素について考え、自ら行動する人材の育成を図るとともに、あらゆる世代の市民、事業者、団体等が学ぶ機会を提供する。	500,000円	地球温暖化に関する基礎知識、気候変動の現状や将来予測、脱炭素の取組について学ぶ機会を提供することにより、多くの市民・事業者等が脱炭素について関心を持ち、理解を深める動機付けとすることを目標とする。	地域協議会対象研修「太陽光発電の現状と効果的な啓発方法」、事業者対象セミナー「地球沸騰化時代のビジネスへ」他、事業者向け出前セミナー「地球温暖化の現状及び脱炭素の取組」他など、あらゆる主体を対象にセミナーを開催した。開催数：5回、参加者数：約400人	B	様々な主体に応じたテーマのセミナーを実施することができたが、事業者向けセミナーの参加人数が想定より大幅に少なく、目標を十分に達成したとはいえないため。	事業者向けセミナーの参加人数を増やすため、事業者のニーズ把握に努めるとともに実施方法や周知方法の充実に努める。また、新たに子どもや親子を対象としたセミナーを開催する。
10	②	生涯学習課	学校施設地域開放	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を生かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、地域住民が学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学修機会場の場を設け、地域の活性化を図る。	2,238,000円	引き続き「西宇治オープンフェスタ」(活動発表イベント)を実施し、活動団体と中学生の連携を深める。併せて、イベント以外でも活動団体と地域学校協働活動のつながりを模索する。	特別教室の開放を行い、地域住民の学びや活動に寄与した。また、「西宇治オープンフェスタ」については、大雨警報が当日発表されたため中止となった。令和6年度登録団体数：18団体 特別教室利用：291件 図書室利用：127回520名	B	「西宇治オープンフェスタ」は大雨警報が当日発表されたため中止となったが、教室利用件数は昨年と同等の利用があり、地域住民が学び、様々な活動を行う場を提供できたため。	教室利用状況は昨年と比べて増加しているが、音楽室を除いた他の教室の利用率が低いため、より多くの利用に向けた広報・周知について運営委員会と検討する。
11	④	生涯学習課(小倉公民館)	小倉納涼盆おどり大会・同講習会	地域伝統文化として開催し、地域の人々のふれあいと親睦・交流を深め、住みよく明るい地域づくりを進める。	75,000円	実施に向けて手法を検討する。	小倉連合町内会が体育振興会と共催で小学校体育館で盆踊りを実施するため、公民館での実施を見送った。	D	実施を見送ったため。	地域の盆踊り大会が盛大に開催されることから、地域での自主的な取組に委ね、公民館での取組は役目を終えることとなった。
12	④	生涯学習課(小倉公民館)	小倉茶香服大会	地場産業の団体と連携して、お茶を味わいながら競技を楽しみ、宇治茶や宇治の文化についての理解と親しみを深める講座を開催する。	32,000円	実施に向けて関係者と調整する。	関係者との調整の結果、感染症予防への対応が十分にできないと判断し、令和6年度も引き続き実施を見送った。	C	実施を見送ったため。	実施に向けて引き続き関係者と調整する。
13(新規)	④	生涯学習課(木幡公民館)	楽しい小学生科学実験教室	子供たちに科学の不思議を体験し、物事を受動的でなく自ら試して確かめようと思わせる機会とする。	21,000円	数値目標：参加者数30人	令和5年度から実施。5年度は1回実施し、令和6年度は2回実施。反響を見ながら次年度以降継続できる事業かどうか検討する。数値実績：参加者数26人	B	一人一人が予測し実験で確かめるというプロセスを体験でき、参加者には大変好評であった。次年度も継続したい。	毎年同じ内容とならないよう事業内容を検討する。
14(新規)	⑤	環境企画課	親子で学ぶゼロカーボンツアー事業	市内在住の小学5・6年生とその保護者を対象としたゼロカーボン関連施設の見学ツアー。見学後に、外部講師から地球温暖化の原因や脱炭素の取組などについて学び、ゼロカーボン達成するための取組やゼロカーボン達成した社会について親子で考える振り返りの時間を設ける。	1,514,000円	小学生とその保護者に、地球温暖化やゼロカーボンについて関心を持ち、親子で話し合うきっかけを提供することにより、家庭や学校で環境にやさしい行動ができるよう意識の向上を図る。	夏休み期間中に4回実施。あいとうエコプラザ菜の花館、大阪ガス科学館、京エコロジーセンター、さすてな京都の4施設を見学し、体験学習や専門講師による脱炭素についての学習会を行った。参加者数は計22組50名となった。	B	各施設での体験学習等を通じ親子で考えたり、話し合う場面が見られ有意義な機会の提供ができた。見学先によって参加人数にバラつきがあったため、より多くの親子が参加できるよう、行先やテーマについては市民ニーズも把握しながら検討する必要がある。	小学5・6年生が関心の持てるようなテーマや行ってみたい施設などニーズの把握に努め、参加者が今後の日常行動に繋げられるような学習機会を提供する。

【推進施策と主な取組】

(3) 市民・地域活動への支援

- ①学習や活動をコーディネートする人材の育成や活用に努めます。
- ②豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材である社会教育士の資格取得を支援します。
- ③大学等と協働して、個人の成長と社会の発展につながるリカレント教育(注12)を推進します。
- ④「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
- ⑤講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
- ⑥市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
- ⑦障害のある人の社会参加を目指した学習活動を推進します。
- ⑧地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
- ⑨いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。

【R6事業評価】  
 A＝事業目標を十分に達成した  
 B＝事業目標を概ね達成した  
 C＝事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要  
 D＝事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	①	地域福祉課	学区福祉委員会活動支援事業(学区福祉委員会活動事業補助金)	学区福祉委員会に対する活動支援のため、社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉の推進を図った。	3,000,000円	150千円を上限に、20学区に補助	20学区 2,709,237円	B	学区福祉委員会連絡協議会の事務局である宇治市社会福祉協議会と協議を行い、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、なお残る社会活動等への影響については柔軟な運用にて対応を行い、事業実績は復調している。	補助事業であり、成果を目的としたものではないが、本事業を活用し各学区で行われる事業によって地域福祉の推進が図れるよう、引き続き事業を継続する。
2	①	学校教育課	図書館ボランティア養成事業(中央図書館と共催)	地域の教育力の活用を図り、学校図書館の活性化を図るため、市民・保護者を対象にした蔵書整理から読み聞かせを担う図書館ボランティアの養成講座、学校を通じ受講希望者を募集⇒講座の開催⇒受講者名簿を学校へ送付。	49,000円	学校図書館の活性化を図るため、市民・保護者を対象に、必要な知識・技術を習得する図書館ボランティアの養成講座を開催し、学校図書館教育の充実を図る。	学校図書館ボランティア養成講座を開催(令和6年5月24日) 学校図書館ボランティア研修会を開催(令和7年2月14日) ボランティア登録者数 293人	A	学校図書館の新たな活性化を図るため、市民・保護者を対象にした蔵書管理から読み聞かせまでを担うボランティアの養成を図ることを目標に、内容を工夫した学校図書館ボランティア養成講座や学校図書館ボランティア研修会を開催することができた。ボランティア登録者数も増加した。	コロナ後、登録者数が回復してきており、今後、さらに内容を充実させ、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を習得する講座を開催する。
3	④	男女共同参画課	市民企画事業奨励事業・地域推進支援事業	男女共同参画の実現に取り組む市民・団体・事業所の実践的活動を支援するため、奨励金を交付する。	290,000円	限られた予算の範囲内ではあるが、事業者等への周知・啓発も含め、積極的な事業実施に努める。目標事業数:5件	市民や団体の取組活動に対して、積極的な支援を行うよう努めた。2事業の実施で目標事業数には達成しなかったものの、120人近くの多くの方が参加された。	B	目標事業数には達成しなかったものの、市民や団体の取組活動への支援をしたことにより多くの方の参加があったため。	令和6年度は目標事業数に達しなかったため、周知・啓発も含め、積極的な事業実施に努める。目標事業数:5件
4	④	男女共同参画課	市民企画サポート事業	男女共同参画の実現に取り組む市民等の実践的活動を支援するため、センターの会議室等の無料貸し出しや広報活動への協力、センタースタッフによる助言などの支援を行う。	26,000円	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標事業数:4件	企画者が行う男女共同参画社会の実現に向けた事業を共催で実施し、企画・運営への助言等を行い支援に努めた。5事業の実施となり目標事業数を達成した。	B	企画者が実施する事業に対し、企画・運営への助言などにより支援をすることで、目標事業数の4件を達成することが出来たため。	引き続き市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標事業数:4件
5	④	生涯学習センター	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	生涯学習に取り組む個人・団体の交流と日頃の成果を発表する機会として開催する。市民の実行委員会が企画運営する。学習のきっかけ作りやネットワークを築く場である。	268,000円	市民の実行委員会で計画した企画で当日を盛り上げる。	出展者数は昨年と同規模であったが、参加者数が少し伸び悩んだ。 出展者数:37団体(前年度40団体) 参加者数:752人(前年度913人)	B	実行委員会での企画立案が進まず、新しい企画は実施できなかったが、実行委員と協力して事業を実施することができた。	参加者数を伸ばすため、広報を改善していきたい。
6	④	生涯学習課	社会教育関係団体への活動支援	子ども会連絡協議会、女性の会連絡協議会の社会教育活動を支援するために補助金を交付するとともに、各団体の事業実施に向けた支援・助言等を行う。	720,000円 子連協 350,000円 女性連 370,000円	補助金交付や支援・助言等により、各団体の事業実施をフォローし、子どもや女性を中心としたつながりや活動の継続を図る。	子連協:親子で楽しむグラウンドゴルフ大会(99人参加)・新春子ども大会(親子・個人部門でかたるた、個人部門で将棋を実施 23人が参加) 女性連:女性いきいき学校(4回開催 計132人が参加)・幹部研修会(33人が参加)	B	市から関係団体へ補助金を交付することにより、団体への活動を支援できた。	社会変容により人と人との繋がり方が多様化する中、両団体ともに活動のあり方を模索しながら活動を継続されている。団体構成員の高齢化や新しいメンバーの確保などの課題があるが、活動の継続に向けて支援していく。
7	④	生涯学習センター	うじ市民活動サポート事業	市民を対象に行う市民企画事業を募集し、教育委員会内に設ける選考委員会で採択した事業について、当センターと共催で事業を行う。	28,000円	講座やイベントを実施する際のノウハウを採択団体に伝え、今後も市内で活躍できるようにサポートする。	採択した4団体(テーマはカリンバ作成と演奏会、クリニカルアート、ダンボールジオラマ、ローズウィンドウ、コミュニケーションアップ)に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートした。	B	どの団体も大きな問題なく実施できた。参加者の集まりが悪い時は市LINEにて広報する等して、事業者と協力することができた。	昨年度よりも多い5団体(テーマはテーブルスタイル茶道、木片アート、ポッチャ体験と歯科講座、ゆるヨガ、記者体験、平安あそび)に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートする。
8	⑤	都市計画課	うじまちパネル展	地区まちづくり協議会活動のパネルや、地域の写真、宇治市まちづくり景観条例の内容について展示、紹介するとともに、来場者と地区まちづくり協議会やまちづくりマイスター等が自由にまちづくりについて意見交換できる場を設ける。	1,283,000円 まちづくり活動支援事業費全体	主に地区まちづくり協議会の活動を紹介するパネル展会場で、まちについて気軽に話し合える場を設け、まちの魅力を再発見し、地域(うじ)に対する興味や愛着を深めてもらう。	10月28日～10月31日の4日間、市役所1階市民交流ロビーにて開催	B	パネルや写真で来場者にまちづくりについて紹介するとともに、地区まちづくり協議会、まちづくりマイスター、市職員が来場者と協議会活動、交通、空き家、防災などについて意見交換を行った。	令和7年度も引き続き、来場者にまちの魅力を再発見し、地域(うじ)に対する興味や愛着を深めてもらうことを目的に開催する。
9	⑤	生涯学習センター	宇治鳳凰大学祭	鳳凰大学の受講生が、仲間との交流を深める場として開催するもので、クラブ活動の成果と個人の趣味を作品展示、舞台発表という形で披露する。	83,600円	生涯学習センター事業としての鳳凰大学祭及びクラブ活動をより円滑に行う。	クラブ活動についてもより円滑に実施することができた。場所の利を生かしたより合理的、効果的な事業展開ができた。アフターコロナを踏まえ、一般市民に周知し参加を促した。	B	令和6年度の事業目標を達成し、新しい鳳凰大学祭が定着し、一般市民への周知ができたことによる。	鳳凰大学祭参加者を一般市民にも広げること、活動の活性化や鳳凰大学そのものの広報にもつなげる。
10	⑥	文化スポーツ課	宇治市高校生文化芸術祭典 FUN×FAN×FES	市内に在住・在学する高校生などが一堂に会し、文化センターで舞台発表や作品展示を開催。参加高校生による実行委員会を組織し、企画・運営を行う。	4,200,000円	宇治市内の高校生の自主的で創造的な文化芸術活動の成果発表を通じて、若年層の文化活動者の学校を越えた交流の機会を提供する。	令和6年12月7日に、文化センターにてステージパフォーマンスや作品展示などを行った。参加人数含む来場者数は計2,320人であった。(マルシェ参加者約1,000人を含む)。高校生で組織する実行委員会を開催し、企画立案及び当日の運営などを行った。	B	宇治市内の高校生の自主的で創造的な文化芸術活動の成果発表を通じて、若年層の文化活動者の学校を越えた交流の機会を提供できた。	事業実施にあたり、より効果的な手法を検討し、参加者と入場者の増加を図る必要がある。
11	⑥	男女共同参画課	市民活動支援ここからチャレンジ相談事業	色んな分野でチャレンジしている、またはチャレンジしようとしている女性を支援するため、NPO等の設立や企業等の相談窓口を委託して設置している。	633,600円	新たな相談員を迎え2名体制で実施する。更なる市民への周知・啓発に努める。目標相談件数:96件	女性の起業や経営企画に向けた相談など、女性の活躍推進に向けた事業を実施する事が出来た。数ヶ月先まで予約できない状況を緩和するため、相談時間を短縮してコマ数を増やしたことで、相談件数は104件と、目標件数を達成した。また、「ここからチャレンジ・マルシェ」を年5回開催し、延べ201ブースの実店があり大変賑わった。	A	「ここからチャレンジ・マルシェ」を開催したことにより多くの方の参加があった等のため、目標相談件数を達成したため。	引き続き、市民への周知・啓発に努める。目標相談件数:96件
12	⑥	長寿生きがい課	認知症キャラバンメイトフォローアップ研修	円滑なサポーター養成講座の展開に向けて媒体の工夫についての意見交換等をし、メイトの資質向上、メイト同士の交流をはかる。	53,000円(他の事業分も含む)	多くのメイトが参加し、資質向上につながるような研修方法や内容の充実を図る。	キャラバン・メイトフォローアップ研修 受講者数 48人	B	参加者数は前年度を上回った。他のメイトの活動報告や宇治市の認知症事業の新たな取組等を共有し意見交換することでメイトの資質向上を図ることができた。	多くのメイトが参加し、資質向上につながるような研修方法や内容の充実を図る。
13	⑥	長寿生きがい課	認知症家族支援プログラム(OB会支援)	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して、認知症の人を介護する家族を支援する。	409,200円	認知症の人を介護する家族が、心身の安定を得ることができる機会として多くの介護者が参加できるように努める。	認知症家族支援プログラム 参加者 延べ32人 OB会 参加者 延べ74人	B	介護者家族に対し、認知症の正しい理解を促進し、介護者同士の交流を支援した。前年度に比べ、参加者は微増した。	さらなる参加者の増加を目指し、広報の工夫や在宅介護中の家族が気軽に参加できる工夫が必要である。認知症の人を介護する家族が、心身の安定を得ることができるよう多くの介護者が参加できるように努める。

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
14	⑥	健康づくり推進課	食生活改善推進員地区組織活動支援	食生活改善推進員養成講座の修了生で結成された宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動の支援や定期的な会員対象の研修を実施する。また、「若葉の会」が実施主体となって実施する地域での健康料理教室を開催する。	428,000円	会員の状況と活動内容について会と相談しながら支援を継続する。 数値目標：活動回数70回	活動回数：91回	A	自主活動及び行政協力依頼事業ともに目標回数を十分達成することができたため。	会員の状況と活動内容について会と相談しながら支援を継続する。 数値目標：活動回数80回
15 (新規)	⑥	生涯学習センター	あつまれうじキッズ！にこにこシアター	中央公民館で行っていた人形劇フェスティバルを生生涯学習センター事業に移管。人形劇にとどまらず、様々な出し物を公募し乳幼児から小学校低学年までの子どもをメインターゲットにしたイベントを開催する。	191,400円	出演者が日頃の活動を発表できる機会を設けるとともに、子どもと保護者が一緒に楽しみ、会場全体が世代を超えて交流できるイベントを企画する。 数値目標：参加者数延べ200人	数値実績：参加者数延べ300人	A	予想を上回る参加者の来館があり、多くの家族に楽しい時間を提供できた。また、昼食として用意していた宇治作業所さんのパンも完売した。	リハーサルを実施していたが音響のトラブルが発生するなど、当初の思惑通りにならない部分があった。令和6年度に出た課題を整理し改善する。
16	⑥	生涯学習センター	ふれあいワークショップ	出展者が取り組んでいる創作活動について、魅力を発信できる場とするワークショップ形式のイベント。	6,000円	募集数(11組)に近い出展者が集まること。たくさんの方がふれあいワークショップを知って、楽しんでもらうこと。	11組を目標に出展者を募集したが、4組しか応募がなく、実施を見送る事となった。	D	販売のみの「手づくり市」の発展形として現在の事業となったが、大半が個人で活動する出展者であるためワークショップ形式での開催が難しくなっていた。次第に出展者が減少しており、令和6年度は実施を見送ることとなった。	ふれあいワークショップは終了とし、様々な創作活動を行っている団体が魅力を発信できる新たな取組を検討する。
17	⑥	生涯学習課 (中央公民館)	子どもの遊び場	土曜日の午前中を、子どもの遊び場として公民館の一室を子どもに開放し、さまざまな遊びや学習の体験や地域の人たちとの交流ができる場として、子どもたちがゆとりを持って過ごせる場所の提供を行っていく。	24,500円	折り紙、クラフト、映画鑑賞、木工作などのテーマで年間12回実施する。 数値目標：参加者267人	折り紙、クラフト、映画鑑賞、木工作などのテーマで年間12回実施。広報紙には活動内容が分かりやすいよう必ずイラストを入れ、目を引くよう工夫した。また当日に中央図書館等に来館する子どもたちに声をかけた。 数値実績：参加者116人	C	令和5年度実績の参加者222人から減少したため。	コロナ時代から部屋の規模に合わせた人数制限をする形式になったが、子どもたちが自由に参加していたコロナ前に比べれば、子どもたちの参加人数が減った。参加人数が定員に満たないものがあったので、広報の仕方を工夫する。
18	⑥	生涯学習課 (広野公民館)	子ども教室(科学の教室)	子どもたちに色々な生活体験、自然体験、文化・スポーツ活動などを行い、心豊かな人間性を育む事業を実施する。	26,000円	科学の教室を年間4回実施する。 数値目標：参加者80人	科学の教室を年間4回実施した。 数値実績：参加者64人	B	参加者は不思議な出来事にくわしく、実験等が成功したときは大きな達成感を得て満足しており、保護者も興味をもって参加しているが、この体験をより多くの参加者にしてもらえよう工夫が必要であるため。	引き続き子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような講座を企画する。
19	⑥	生涯学習センター	ロビー展示・ミニ講習会	生涯学習センターのロビーを市民の展示スペースとして活用してもらう。展示希望者は展示の他、毎月1組限定で講習会の実施もできる。	9,000円	出展者の発表の機会を創出するとともに、来館者が活動を知るきっかけの場を作る。また、昨年度見直しした出展方法を出展者に徹底してもらい、快適なロビーづくりを目指す。	ロビー展示には43団体の出展があり、229日展示を行った。ミニ講習会も9回実施した。	B	出展者の活動内容をPRする場を設けることができた。また、前年度見直しした出展方法を徹底できたことで、来館者にとっても快適に展示を鑑賞できる環境を整えることができた。	ミニ講習会では、参加者が定数に達しないものがあった。広報の仕方に検討が必要。
20	⑥	生涯学習課 (宇治公民館)	トマトケチャップづくり講習会	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。	5,000円	トマトケチャップづくり講習会を1回実施する。 数値目標：参加者16人	トマトケチャップづくり講習会を1回実施することができた。 数値実績：参加者16人	B	定員を超える申込者があり、参加者にとっては美味しく新鮮なトマトケチャップの作り方を学べ、満足度の高い事業となっているため。	選考方法を抽選にし、リピーター以外の参加者を増やすなど実施方法を工夫する。
21	⑥	生涯学習課 (宇治公民館)	味噌づくり講習会	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。	10,000円	味噌づくり講習会を2回実施する。 数値目標：参加者32人	味噌づくり講習会を2回実施できた。新規の参加者が多数になった。 数値実績：参加者32人	B	リピーター以外の人にも参加してもらえよう、選考方法を先着ではなく抽選にしたり、定員を増やしたり、実施方法を工夫して実施し、ほぼ目標どりの人数の参加者に味噌づくりに取り組んでもらえたため。	令和6年度の実施手法にならって実施し、スムーズな運営に努める。
22	⑦	生涯学習課	障害者教室	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。	118,000円	障害がある人・ない人が共に学ぶ講座を設け、共生社会の形成に向けて市民の共通理解を進める機会を創出する。	心身障害者教室 やまぶき学級：140人 身体障害者教室 社会見学：32人 合同講座(一般含む)：60人	B	どの事業も参加者が増加し、障害がある人・ない人が共に学ぶ機会を創出できた。参加者の固定化が課題である。	参加者の固定化・高齢化や、障害のない人の参加が少ない事が課題である。障害の有無にかかわらず参加できるように事業内容や広報手段を工夫し、インクルーシブな学びの機会の提供に努める。
23	⑦	文化スポーツ課	障害者スポーツ大会	市内の障害者が一堂に会し、障害者のみでなくボランティアを含めスクエアポッチャやドッチビー投げなど各種競技種目を通して体力の増進を図るとともに関係者間の交流を図り、社会福祉を推進することを目的に開催する。	338,000円	昨年に引き続き、市内すべての障害者が参加できる大会として「愛とふれあいの地域社会」をスローガンに本大会を開催する。	宇治市の障害者が一堂に会し、ボランティアなどと共に、各競技種目を実施した。 ※ 参加者・ボランティア等 342名	A	前回大会に比べ、多くの選手、ボランティア・スタッフが集まり盛大に実施できたため	夏場に実施することにより、障害のある方にとっては感染症や熱中症に罹患した際のリスクが大きいため、引き続き感染症及び熱中症対策を講じ、参加人数に応じて会場や内容を検討する必要がある。
24	⑧	人権啓発課 (コミュニティワークうじ館)	善法文化祭開催事業	地域活動の場である「善法文化祭」の開催を通して、市民の相互交流を促進するとともに、部落差別(同和問題)をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。	676,713円	[善法文化祭]参加者数：400人	善法地域まちづくり推進委員会において、例年開催している「善法文化祭」および「善法地域人権フェスタ」の2つのイベントを、R7年度に統合して開催することとし、R6年度の「善法文化祭」は開催しないこととした。	B	「善法文化祭」は開催しなかったものの、会議を重ねることで、地域住民間の交流を促進することができた。	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な市民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。
25	⑧	人権啓発課 (コミュニティワークうじ館)	まちづくり推進事業	地域活動の場である「善法地域人権フェスタ」「防災フェスタ」の開催を通して、市民交流と地域活動を促進するとともに、部落差別(同和問題)をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。	1,347,380円	[善法地域人権フェスタ]参加者数：400人 [防災フェスタ]参加者数：30人	[善法地域人権フェスタ]参加者数：300人(11月2日開催)	B	「善法地域人権フェスタ」のなかで防災訓練を予定していたが、当日の大雨警報の発令に伴い、ステージ発表や防災訓練など外部団体との企画を中止し、地域の模擬店のみ開催。地域活動を活性化させるとともに、市民一人ひとりが「人権」について考えることを発信できる取り組みとなった。	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な市民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。
26	⑧	市民協働推進課	地域コミュニティ活動支援事業	「共助」「協働」による地域づくりに向け、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、地域コミュニティの活性化及び地域課題の解決に向けた活動を支援する。	19,500,000円	協働によるまちづくりに向け、様々な主体が協力しあえる土壌づくりとなるような意見交換を重ねながら補助・支援に取り組む。	地域コミュニティ活性化及び地域課題の解決に向け、地域コミュニティ活性化事業補助金を交付するとともに、小倉エリア及び木幡・黄檗エリアにおける新たなコミュニティの交流空間創出に向けて支援した。	B	補助金の交付等支援により、地域のつながり促進に寄与することができた。	協働によるまちづくりに向け、様々な主体が協力しあえる土壌づくりとなるような意見交換を重ねながら補助・支援に取り組む。
27	⑧	文化スポーツ課	各種大会等委託	生涯スポーツの普及や、スポーツの技術向上を目的として、各種大会・講習会等(ジュニア技術講習会、生涯スポーツ育成事業、地域生涯スポーツ振興事業、ニュースポーツひろば)を外部団体等に委託して開催する。	2,590,000円	各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図る	ジュニア技術講習会 339人 生涯スポーツ育成事業 3,089人 地域生涯スポーツ振興事業 5,410人 ニュースポーツひろば(体振) 1,176人	B	各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。	今後も引き続き、事業内容を精査し、より効果をあげられるよう努める。
28	⑧	観光振興課	宇治十帖スタンプラリー	「源氏ろまん」の一環として、10月から11月にかけて、宇治十帖の古跡を巡るスタンプラリーを開催し、「源氏物語のまち」を印象付ける。	9,383,000円	踏破者数の増加	踏破者数 7,113人(スマートフォン4,458人、ウォーキングマップ2,655人)	B	全体の踏破者数は、令和6年度を下回ったが、ウォーキングマップの踏破者数は若干増加。また、大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に「源氏物語のまち」や「紫式部ゆかりのまち」として宇治の魅力を実践できたことが理由の1つと考えられる。	宇治の歴史、文化を感じ、学びにつながる内容になることを目指し、更なる踏破者数の増加を目指す。
29	⑧	文化スポーツ課	京都サンガF.C.との協働	京都サンガF.C.のホームタウンとして、宇治市ホームタウンデー、小学校でのサッカー教室等地域活性化を目指した事業を実施。	0円	京都サンガF.C.を含む、本市をホームタウンとするプロスポーツチームと協働することにより、スポーツ気運を醸成する。	9月22日(日)に京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデーを開催した。 その他にも事業連携を行った(連携件数4件)	B	京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデーの開催等を通じ、市民へのスポーツ振興に貢献できた。	京都サンガF.C.を含む、本市をホームタウンとするプロスポーツチームと協働することにより、スポーツ気運を醸成する。

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
30	⑧	健康づくり推進課	健康づくり・食育アライアンス U-CHA イベント	健康づくり・食育推進計画の基本理念「こんにちは笑顔で健やか宇治のまち」を目指し、「健康寿命の延伸」「こころ豊かに暮らせるまちづくり」の基本方針のもと、市民の健康行動変容のきっかけづくりを行う。	4,000,000円	12月22日(日)に生涯学習センター及び産業会館で健康づくり・食育をテーマにしたイベントを開催し、市民への「健康づくり・食育の増進」をはかる。数値目標：参加者数1,000人	昨年度と同じ会場で健康づくり・食育をテーマにした体験型のイベントを開催し、約1,400人もの来場者数があった	A	目標にしていた数値目標を上回る参加者数となったため	12月14日(日)に生涯学習センター及び産業会館で健康づくり・食育をテーマにした体験型のイベントを開催し、市民への「健康づくり・食育の増進」をはかる。数値目標：参加者数1,000人
31	⑧	危機管理室	宇治市防災訓練	地域住民の災害への初期対応能力を高めること並びに防災関係機関及び各自治会の連携強化を目的とする。	1,408,000円	瀬島地域の住民を中心に、豪雨と地震による複合災害を想定し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施する予定。	「公助」として各防災関係機関の連携強化を図ること共に、自主防災リーダーの訓練や市民参加型訓練を取り入れ「自助」「互助」「共助」の強化を図ることを目的として開催した。	B	宇治市立北瀬島小学校で防災訓練を実施し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施することができたため。	東宇治地域の住民を中心に、豪雨と地震による複合災害を想定し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施する予定。
32	⑧	文化スポーツ課	市民総合体育大会	宇治市と(一財)宇治市スポーツ協会の主催にて、太陽が丘等で20以上の種目を競う。5月に総合開会式、年間を通じ各種目の大会を行う。スポーツ協会傘下の各種目協会が主管し開催する。	2,100,000円	様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図る。	各種目合計参加者7,327人	B	様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図り、市民へのスポーツ振興に貢献できた。	今後も、様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図る。
33	⑧	文化スポーツ課	宇治田楽まつり	平安時代に宇治の白川を拠点に本座田楽というプロの集団が活動していたと伝えられていることから、失われた宇治の文化遺産である田楽の復興をテーマに宇治田楽まつり実行委員会が中心となって開催する。	3,000,000円	失われた文化遺産の復活と市民文化の向上を図るとともに、宇治田楽を新たな文化遺産としての定着を図る。	雨天のため文化会館大ホールでの開催となったが、地域の文化資源や市民による文化芸術活動に触れる機会の充実が図れた。	B	宇治田楽を通じて、宇治の歴史や文化を再認識していただける機会となった。	大阪・関西万博への出演を控えていることから、伝統文化の復活はもとより、宇治にふさわしい魅力ある市民のまつりとして世界へ発信していく。
34	⑧	男女共同参画課	UJIあさぎりフェスティバル	幅広く市民にUJIあさぎりプランの周知を図ると共に、男女共同参画社会への認識を深め、共に考え、ネットワークを広げる場として積極的な市民参画の事業として実施。内容はテーマに沿ったイベント、参加型イベント、パネル展示、パフォーマンス等。	50,000円	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標参加人数：1,400人	前年に引き続き10月の開催となったが、メイン企画の他に「ここからチャレンジ・マルシェ」を同時開催したり、クイズラリーを行うなどの工夫をしたものの、他でのイベントが重なるなどもあり、約1,100人の参加となった。	B	目標参加者数には達成しなかったものの、クイズラリーや「ここからチャレンジ・マルシェ」を開催したことにより多くの方の参加があったため。	更に市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標参加人数：1,400人
35	⑧	環境企画課	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議の運営	市民、事業者、関係団体、市が協働し、第三次環境保全計画に基づく具体的な取組の企画、提案、情報発信や啓発活動を行い、地球温暖化対策の取組を推進する。	220,000円	年々参加者延べ人数は増加しているが、参加目標3,000人を目指して、環境フェスタ、家庭の省エネ相談所、緑のカーテン講習会、再エネ講演会等、市民ニーズを把握しながらゼロカーボンや温室効果ガス抑制に効果の高い事業や取組を実施する。	緑のカーテン講習会、身近な太陽光発電講座、エコ防災クッキング、旬の野菜収穫体験、ゴミ焼却施設見学会、自治会・小学校への出前講座など様々な学習機会を提供した。その他、環境フェスタや家庭の省エネ相談所などを実施し、参加延べ人数は目標3,000人に対し2,332人となった。	B	太陽光発電講座は定員を大きく超える申込があり市民ニーズに応じることができた。その他多種多様な講座を実施したが、周知不足等により参加者が定員を下回る講座が多かった。集客を見込んでいた環境フェスタは周知遅れもあり、参加人数が予測を下回った。1年を通しての参加延べ人数は目標には届かなかった。	周知方法を見直すとともに市民ニーズに応じた活動を実施することにより、延べ参加人数3,000人を目指す。またニテコン株、日産自動車株、京都日産自動車株との協定を契機とし、各社のノウハウや知識を活用しながらゼロカーボン、温室効果ガスの抑制への啓発等を行い、地球温暖化対策の取組を推進する。
36	⑧	子ども福祉課	地域子育て支援拠点事業 子育てサークル支援	各地域子育て支援センターや地域で活動する子育てサークルに対し、専門職(保健師・栄養士・保育士等)の派遣、遊具等の貸出などを行い、子育てを支援する。	81,050,000円 (地域子育て支援拠点運営費全体)	引き続き専門職の派遣や遊具等の貸出により、サークル活動の支援を行う。	専門職の派遣希望のあったサークルや遊具等の貸出希望のあったサークルに対し、支援を行った。	B	子育てサークルに対し、活動支援を行うことができたため。	少子化や共働き世帯の増加により子育てサークルは減少しつつあるものの、意欲的・自主的に活動しているサークルに対し、引き続き支援を継続する。
37	⑧	生涯学習課(各公民館)	公民館まつり(公民館サークル発表会)	公民館でサークル活動や学習をしている団体が日頃の学習や文化活動の成果を発表し、地域との交流と連帯を深める。	105,120円	感染症対策が緩和されたなかで、各館実行委員会等において協議を重ね、地域の参加者の増加を目指す。	参加したサークルの増加等の工夫により、前年度より参加者の多い公民館まつりを開催することができた。	B	公民館サークルの日頃の成果発表と地域との交流という事業趣旨に沿った内容で実施することができたため。	実行委員会の役員の高齢化が進んでおり、日程や運営など開催方法の工夫が必要である。
38	⑧	生涯学習課(小倉公民館)	夏休み子どもふれあい広場	地域団体と連携しながら、企画運営する。昔の遊び、手づくり体験などを通して、親子のふれあい、地域の人たちとの世代間交流を図る。	12,000円	公民館サークルの協力を得て、子どもに昔遊びの体験機会を提供し、世代間交流をする。数値目標：参加者20人	公民館サークルの協力を得て、12人の子どもが押し花体験と紙芝居・人形劇を鑑賞し、世代間交流をすることができた。	B	紙芝居・人形劇や押し花作成など、参加者には好評であった。	保護者が参加しやすいよう土曜日開催としたが、募集定員に満たなかった。夏休みの宿題に活用できるような内容を検討したい。
39	⑧	生涯学習課(小倉公民館)	子ども教室(親子農業体験、書き初め教室)	サークル等の協力を得て、学校や家庭で経験できない様々な体験を通して心豊かな人間性を育むとともに世代間交流と親睦を図る。	48,000円	親子農業体験を3回、書き初め教室を1回実施する。数値目標：参加者(親子農業体験)延べ54組(書き初め教室)40人	親子農業体験を3回、書き初め教室を1回実施することができた。数値実績：参加者(親子農業体験)延べ54組・156人(書き初め教室)27人	B	書き初め教室の参加者は定数を下回ったが、親子農業体験は収穫物も豊作で、小学生や保護者にとって世代間交流や地域との交流につながる体験となったため。	親子農業体験では畑管理を地元有志への委託料を予算化し、地域と連携しながら事業を実施する予定である。
40	⑨	生涯学習課(中央公民館)	夏休み親子木工教室	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しさを体験してもらう。	53,500円	夏休み親子木工教室を3回実施する。数値目標：子ども20人	夏休み親子木工教室を3回実施することができた。数値実績：参加者大人16人・子ども20人	B	子どもの定員20名に対し33件(子ども41人)の応募がある人気講座。当日も子どもが大人のサポートを受けながら熱心に取り組むことができたため。	参加費(材料費)は800円であるが、今後材料費の高騰が進めば参加費が増額となる可能性がある。
41	⑨	生涯学習課(広野公民館)	夏休み親子木工教室	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しさを体験してもらう。	11,500円	夏休み親子木工教室を1回実施する。数値目標：参加者8組	夏休み親子木工教室を1回実施することができた。数値実績：参加者8組・21人	B	参加者が木工作品づくりを通じて達成感と満足感を得ることができた講座を実施することができたため。	引き続き子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような講座を企画する。
42	⑨	生涯学習課(木幡公民館)	夏休みはなまる工作教室	仲間と共に自由な発想で木工に取り組み、作る楽しさを体験し創造力を養う。	11,700円	夏休みはなまる木工教室を1回実施する。数値目標：参加者12人	夏休みはなまる木工教室を1回実施することができた。数値実績：参加者12人	B	親子同伴もOKという形で行い、低学年の子たちは親子で制作する様子も多く見られた。人気も高くすぐ定員に達した。	講師である木工サークルが高齢化もあり、今年度限りに行いたいと申し出があったため令和7年度は実施することができない。
43	⑨	生涯学習センター	はじめよう！セカンドライフ	セカンドライフの過ごし方を考えている人などを対象として、今後の過ごし方について考えるきっかけとなるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動等に関する情報を提供し、参加者同士の交流の場として、宇治ボランティア活動センター・宇治市福祉サービス公社と共催で開催。	66,500円	「大学教授等による講演」「ボランティア活動等体験者による発表」の2回連続講座を2度開催し、参加者が新たな活動を始めたり、活動の幅を広げるきっかけとなるよう情報提供し、参加者同士の交流を図る。	「大学教授等による講演」「ボランティア活動等体験者による発表」の2回連続講座を6月と11月に2度開催した。	B	第1講での講演を通じ、地域への関わりやボランティア活動等の内容・考え方を知る機会を提供できた。また、第2講での発表・交流会を通じ、活動のきっかけづくりや活動の幅を広げる道筋を一定程度提供できた。	年々参加者が減少傾向にある。鳳凰大学や掛民館での講座でチラシを配布して参加を呼びかけたが、大きな効果はなかった。広報に課題が残ると考えられるものの、広報媒体には限りがあり、打開策を探る必要がある。
44	⑨	生涯学習課(木幡公民館)	チャレンジ・やってみよう	子どもが新たなことに取り組もうとしたり、さらに力を伸ばそうとしたりする意欲を高め、生きる力を育てる一つの機会とする。	31,700円	和菓子作りを2回、お茶体験を1回、けん玉体験を1回、篆刻を1回実施する。数値目標：参加者114人	和菓子作りを2回、お茶体験を1回、けん玉体験を1回、篆刻を1回実施することができた。数値実績：参加者106人	B	「茶レンジ」を除くと、いずれの事業も親子同伴もOKという形で行い、親子で協力合って活動する様子も多く見られた。終了後のアンケートでは、ほとんどの参加者が満足しておられた。新規の「篆刻」も好評だった。	引き続き子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような講座を企画する。
45	⑨	生涯学習課(木幡公民館)	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	ものづくりや芸術鑑賞、体を動かす体験を通して、親子、高齢者の世代間交流を図り、「生活の知恵」「子育てアドバイス」などを学ぶ。	59,700円	小物入れ、七宝焼き、パン、クリスマスリースをつくる講座を各1回実施する。数値目標：参加者64人	小物入れ、七宝焼き、パン、クリスマスリースをつくる講座を各1回実施することができた。数値実績：参加者51人	B	どの事業も人気が高く好評だった。受付開始すぐに定員になった。来年度も実施の方向で考えたい。	好評であったテーマで講座を企画する。
46	⑨	生涯学習課(広野公民館)	音楽の広場	地域の人々に歌を楽しんでもらい、歌を通じて地域住民が交流を図れるよう実施する。	10,000円	地域住民が楽しめる音楽の広場を実施する。数値目標：参加者90人	地域住民が楽しめる音楽の広場を実施することができた。数値実績：参加者53人	B	多くの地域住民や公民館利用者の参加を得て、皆で声を出して歌唱を行い交流することができたため。	平日の午前開催ではあるが、広報の工夫により様々な世代の地域住民の参加を得たい。

**【推進施策と主な取組】**

**(5) 質の高い生涯学習環境の推進**

- ① 質の高い生涯学習活動が実施されるよう、生涯学習審議会等で審議された内容や研究報告を施策展開に活用します。
- ② 大学等と生涯学習に関するネットワークを構築し、情報の収集、共有及び発信を進めます。
- ③ 他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。

**【R6事業評価】**

- A=事業目標を十分に達成した
- B=事業目標を概ね達成した
- C=事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要
- D=事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要

番号	主な取組	担当所属名	事業名	R6事業内容	R6事業予算額	R6事業目標	R6事業実績	R6事業評価	R6評価理由	R7に向けた課題と目標
1	③	文化スポーツ課	宇治川マラソン大会	スポーツ推進・市民相互の交流・観光都市宇治のPRの場として市民及び全国各地からの参加者を対象にマラソン大会を開催する。	1,550,000円	参加者2,000人	参加者1,834人（当日出走者数） 今大会は、宇治市観光大使の千葉真子さんをゲストランナーとして招聘した。	B	ゲストランナーとして宇治市観光大使の千葉真子さんを招聘し、昨年度よりも多くのランナーに参加してもらえ、申込者は2,057人となった。しかし、当日の参加者は2,000人を下回ったため、目標値の参加者2,000人には到達できなかった。	令和7年度は40回の周年記念大会となるため、記念大会にふさわしい大会となるよう、更なる大会の魅力度向上を図り、参加者2,000人を目指すとともに、大会運営に関わる役員等に対して主催者意識向上に向けた取り組みや体制の見直しが必要。
2	③	文化スポーツ課	宇治市民文化芸術祭	市内の主な文化芸術団体を中心に舞台・展示を開催。その他、いけばな・音楽・写真・絵画はそれぞれ独自に実施。実行委員会を構成し、企画・運営を行う。	1,950,000円	来場者数7,500人(宇治市文化芸術振興基本計画目標(R15までの達成目標))	来場者数4,496人(前年度4,200人)	B	開催前にイベントを実施し、開催当日は参加団体による来場者参加型のワークショップを実施したりして、来場者が増加した。	来場者増加に向けた新たな取り組みを実施する。
3	③	生涯学習センター	センター協力者グループ交流会	生涯学習センター事業に協力している個人・グループが集まり、各団体の活動を紹介し、団体同士の交流を図る機会とする。	0円	生涯学習に取り組む団体・個人がCSに関する理解を深め、地域や学校での活動に協働して取り組むためのヒントを得ること、関係者が知り合い、交流することを目的として、CSの担当課である教育支援課と共催でCS交流会を開催する。	6月に交流会を実施。参加者 計64名 対象者(人材バンク登録講師、生涯センター事業関係者、教職員、CSコーディネーター、生涯センター事業関係者)	B	交流会を通じて、生涯学習に取り組む団体・個人(人材バンク登録講師等含む)、教職員、CSコーディネーターの意見交流をおこなうことができた。	今回のCS交流会の案内では、開催の趣旨が人材バンク登録者や生涯学習センター事業関係者に伝わらなかったため、次年度の開催案内の工夫や、講演内容に成功体験だけでなく、失敗体験を盛り込む等、交流会に参加しやすい工夫をおこなう。また、事業についてはCSの担当課である教育支援課と共催でCS交流会を開催する。



令和6年度(予定)  
**宇治鳳凰大学**  
受講生募集

募集期間  
4/1(月)~  
4/19(金)  
(消印有効)

**講義内容**

- 政治経済コース ●社会福祉コース
- 文学歴史コース ●健康管理コース

4年間で4つのコースを学びます!詳しくは学習計画表(裏面)をご確認ください。

※1年目に希望するコースが定員を超える場合は、抽選の上で別のコースを受講していただくことがあります。

**開設期間(令和6年度)**  
令和6(2024)年5月~令和7(2025)年3月  
平日午前開催(一部午後) 年度あたり全7回  
入学式(1年目のみ) 5月23日(木)午前10時

**対象**  
市内在住の満65歳以上(昭和34年4月1日までに生まれた人)で、4年間継続して受講できる人

**費用 無料**

**定員 100人**(応募者多数の場合抽選)

**会場** 生涯学習センター  
専用駐車場はありません。車で来られる場合は、市役所南側の二階式駐車場をご利用ください。

**申し込み・問合せ先**  
生涯学習センター 〒611-0021 宇治市宇治路45-14  
TEL 39-9500 FAX 39-9501

**来館** はがきの表面に氏名・住所・郵便番号を記入し、裏面には何も書かず持参してください(私費ががきの場合、63円切手を貼付)。

**郵送** 往復はがきに①氏名(ふりがな)②住所③生年月日④年齢⑤電話番号⑥1年目の希望コース、返信用はがきの表面に氏名・住所・郵便番号を記入し、裏面には何も書かず持参してください。

**申込み・問合せ先は生涯学習センターです。**  
※半額返金や優待が必要な場合は、お知らせください。  
※必須書類や郵送が必要な場合は、お知らせください。  
※必須書類や郵送が必要な場合は、お知らせください。

【資料7】宇治鳳凰大学

~認知症の人にやさしいまち・うじ~  
「認知症に関する講座を出席します!」  
**認知症あんしんサポーター養成講座のご案内**

認知症は誰にでも起こりうる病気です。65歳以上の人では約7人に1人に症状があるとされています。宇治市は、認知症の人やそのご家族への理解が地域に広く定着することで、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指します。

ご都合のよい日時、会場に講師を無料で派遣します!  
認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人やその家族を見守り、応援してくれる人(認知症あんしんサポーター)を養成します。認知症の症状や認知症の人とその家族の立場から自分ができることを学びます。  
ご近所の皆様、お友達、職場の仲間など5人程度が集まる機会に、ぜひ、受講してみませんか?  
受講された方にはテキストとオンレンジング(サポーターの証)を配布します。

**対象者**  
宇治市在住・在学・在勤の方

**お申し込み方法**  
裏面の項目を参考に、電話または郵送で下記までお申し込みください。  
※開催は原則、平日9:00~17:00でお願いいたします。  
土日、夜間等ご希望には追加の場がありますので、ご了承ください。

**お問い合わせ**  
〒611-0021 宇治市宇治路1-3  
宇治市福祉サービス公社 中宇治地域包括支援センター内  
認知症コーディネーター専用ダイヤル 電話番号 28-3686

【資料8】認知症あんしんサポーター養成講座

令和6年度 事業者向けゼロカーボンセミナーのお知らせ

中小企業の **お得な** **省エネセミナー**

主催/宇治市・宇治商工会議所

補助金活用 コスト削減 CO2削減

ゼロカーボン経営のヒントを紹介します。

地球温暖化はますます深刻化しており、脱炭素化の取組が求められています。「脱炭素化に投資するメリットはあるのか?」「取り組みたいが、知識、人材、経費がない。」「省エネのアドバイスが欲しい。」とお考えの皆さん、本セミナーでは、経営改善と脱炭素化を同時に達成するための情報を分かりやすく紹介いたします。ぜひ、お気軽にご参加ください。

**日時** 令和6年 **7.11(木)** 14:00~16:00 **参加無料** (申込順 30社程度)

**会場** 宇治商工会議所 大会議室  
宇治市宇治路 45-13 宇治市産業館3階

**第1部** 地球温暖化時代のビジネスへピンチをチャンスにつなげる発想の転換  
京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 川手 光孝 氏  
※中小企業が脱炭素に取り組み5つのメリットについてご紹介いたします。

**第2部** 経営改善のための省エネ診断と省エネアドバイス  
NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会 奥川 暲昭 氏  
※無料で省エネ診断が受けられ、効果のあるアドバイスがもらえる取組をご紹介します。

**第3部** 京都府の事業者向け省エネ・再エネ関連補助金について  
京都府総合政策推進部総務課社会推進課 温暖化対策係 副主査 興津 良介 氏  
※京都府の補助金を使って、お隣の省エネ・再エネ設備を導入しませんか。

お問合せ・申し込み 宇治市環境企画課 ☎0774-20-8726

右の二次元バーコードか、お電話で7/10(水)までにお申し込みください。

【資料9】ゼロカーボンセミナー

夏休みに  
エコを学ぼう

**親子で学ぶ**  
**ゼロカーボンツアー**

施設見学や実験、体験など、脱炭素について親子で楽しく学べるツアーです。

**対象** 宇治市内在住・在学の小学5・6年生と保護者

**定員** 各コース10組20名程度(先着順)

**参加費 無料** **日帰り** **バスツアー**

**講師**  
Aコース 京都府地球温暖化防止活動推進センター 浅井 薫さん  
B・C・Dコース 株式会社ラジク 黒野 正和さん

**Aコース** 7/22(日) 8:15-16:00  
廃食油のリサイクルを体験!  
カラフル★エコキャンドル作り  
葉の花館(滋賀県東近江市)

**Bコース** 7/29(日) 8:15-16:00  
Let's! チャレンジ  
エコ虫さがし&たんけんクイズ  
京エコロジーセンター(京都市伏見区)

**Cコース** 8/1(水) 9:30-16:00  
ごみ処理場で焼却炉・ごみ発電★見学ツアー!  
さすてな京都(京都市伏見区)

**Dコース** 8/7(水) 8:15-16:00  
エネルギーのいまと「みらい」  
わくわく! エネルギー科学実験  
大阪ガス科学館(大阪府高石市)

6/17(日)から受付開始  
定員に達し次第受付終了  
申込みはこちら

宇治市環境企画課 ☎0774-20-8726

【資料10】親子で学ぶゼロカーボンツアー

宇治まなびんぐフェスタ2025  
**実行委員募集**

令和7年2月15日(土)・16日(日)開催

**「宇治まなびんぐ」とは**  
生涯学習活動をしている人々の発表と交流の場として、また、これから何かを始めたい人々のきっかけづくりの場として開催し、今年で32回目となります。  
今年も、世代を超えて多くの方が楽しめる催しにしたいと考えています。  
宇治とネットワークを深める集いを皆さんのアイデアで企画・運営してみませんか。

**活動内容**  
・実行委員会(3~4回)  
・出演者との打ち合わせ  
・チラシ等広報物デザイン  
・開催当日の来場者案内等  
会議等へは各自の予定に合わせて出席していただきます。欠席された際は担当職員がフォローいたします。  
令和6年9月中旬に第1回実行委員会開催予定

**申し込み**  
対象: 市内在住・在勤・在学中で平日昼間に活動できる18歳以上の方  
①氏名(ふりがな) ②住所、③年齢、④電話番号  
⑤メール・FAX(どちらか必須)  
⑥応募の動機を書いて、来館、メール・FAX・郵送で生涯学習センターへ  
-裏面の申込書をご活用ください-  
8/20(火)必着

宇治市生涯学習センター  
〒611-0021 宇治市宇治路45-14  
TEL:0774-39-9500/FAX:0774-39-9501  
Mail:shogaigakushu@city.uji.kyoto.jp

【資料11】市民まなびの集い

市民が市民に発信!!  
令和6(2024)年度  
**うじ市民活動サポート事業**  
企画を募集します!

あなたのこれまでの活動や学びの成果を市民の皆さんを対象に、講座やイベントの形で発表してみませんか? 生涯学習センターでは、豊かな暮らしを提案する企画や、まちづくりにつながる企画を募集します。実施が決まった事業については、生涯学習センターが広報や実施をサポートします。市民に向けた独創性のある企画をお待ちしています!

しめきり **11/9(木)**

**事業の実施期間** 令和6(2024)年5月1日(水)~令和7(2025)年3月7日(金)

宇治市生涯学習センター  
〒611-0021 宇治市宇治路45-14  
TEL:39-9500 FAX:39-9501  
E-mail: shogaigakushu@city.uji.kyoto.jp

詳しくは裏面をご覧ください。

【資料12】うじ市民活動サポート事業

令和6年度 第32回  
**宇治鳳凰大学祭**

宇治鳳凰大学での日頃の活動の成果を発表します!

宇治鳳凰大学受講生の発表をぜひご覧ください!

**日時** 令和7年2月7日(金)

**舞台** 13:00~15:00(開場12:30)  
13:00~14:00...抒情歌をうたう会発表  
14:00~15:00...なつめろクラブ発表  
展示 11:00~15:15  
陶芸クラブ展示・かな書道クラブ展示

**会場** 宇治市生涯学習センター  
舞台 第1ホール  
展示 第2ホール・ロビー

**主催** 宇治鳳凰大学祭実行委員会  
宇治市生涯学習センター

【資料13】宇治鳳凰大学祭

**FUN×FAN×FES**  
12月7日(土) 10:00~17:00  
宇治市文化センターにて開催! 入場無料!  
高校生文化芸術祭典【ステージパフォーマンス】【作品展示】

★参加団体★  
京都芸術高等学校 京都翔英高等学校  
京都府立宇治支援学校 京都府立城南養育高等学校  
京都府立苑田高等学校 京都府立東宇治高等学校  
立命館宇治高等学校

楽しい企画が目白押し!  
1日限りの文化祭!  
一緒に楽しみましょう!

大ホールロビーで展示します!  
「わたしの宇治」  
★風景写真募集★  
あなたが伝えた宇治の魅力や思い出の風景写真を送ってください!

募集期間 10月28日(月)~11月15日(金)  
応募はコチラから

主催 FUN×FAN×FES実行委員会 宇治市  
後援 京都府 京都府教育委員会  
協力 京都府立文化芸術会館  
お問合せ 宇治市文化スポーツ課 TEL 0774-20-8724(午後8:30~17:15)

【資料14】宇治市高校生文化芸術祭典  
FUN×FAN×FES



